

脱炭素ビジョン実現に向けた施策例とロードマップ

1. 国立公園およびウトロ地域

取り組み	2030年まで	2050年まで
再生可能エネルギー（熱・電気）の活用、省エネの推進	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への太陽光発電や地中熱ヒートポンプの導入検討、一部施設に導入 温泉熱や温泉排熱の活用の検討 	施設の屋根、壁面等に太陽光発電やヒートポンプ導入、利用可能な温泉熱等の徹底活用
交通分野の脱炭素化	<ul style="list-style-type: none"> 二次交通としての電動自動車カーシェアリング、Eバイク等の普及推進 電動自動車用充電施設の普及促進 二次交通としてのバス利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> 電動自動車カーシェアリング・Eバイク等の利用定着 電動自動運転バス運行・利便性の向上
自然を生かした脱炭素化、環境教育等	<ul style="list-style-type: none"> 100平方メートル運動の森づくりの推進 持続可能な観光地づくり、サステイナブルツーリズムの推進 情報発信、環境教育の普及推進 宿泊者用アメニティにおける脱プラスチックへの理解促進 ゼロカーボンパークへの登録 	<ul style="list-style-type: none"> 学びや気づきの場としてのブランディング 持続可能な地域づくりに係る関係人口の拡大

【関連する主な SDGs の目標】



2. 中心市街地

取り組み	2030年まで	2050年まで
再生可能エネルギー（熱・電気）の活用、省エネの推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域の事業者や金融機関等との積極的な連携、地域新電力の検討 公共施設への太陽光発電や地中熱ヒートポンプの導入検討、一部施設に導入 再生可能エネルギー導入施設間での電力の共同利用の検討 上水道設備を活用したマイクロ水力発電の導入検討、一部導入 家庭への太陽光発電システムや蓄電池の導入支援 二酸化炭素排出量が少ない発電事業者からの電力購入促進 断熱性能などの省エネ面に優れた住宅、事業所普及の支援 省エネ家電やスマートメーターなどの普及促進 	<p>地域特性を生かした発電や熱利用によりエネルギーの地産地消を実現</p> <p>断熱性能などの省エネ面に優れた住宅、事業所の普及</p> <p>省エネ家電の普及、エネルギーの見える化、節エネルギー、節水の徹底</p>
交通分野の脱炭素化	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの拡充やオンデマンド交通の導入検討、試行 公共交通の利用促進につながる情報提供や連携イベント等の実施 	<p>ICT技術を活用し利用者ニーズに合わせたダイヤ・経路での運行</p> <p>利用者増加により公共交通の利便性向上</p>
ライフスタイルの転換、環境教育等	<ul style="list-style-type: none"> テレワーク、ワーケーションの推奨 ワーケーションの受け入れ支援 情報発信、環境教育の普及推進 	<p>働き方や暮らし方に対する新たな価値観の浸透、関係人口の拡大、再エネ電力の最適化</p>
まちづくりを通じた脱炭素化	<ul style="list-style-type: none"> 町民との協働によるまちなか緑化・緑地等の維持管理、街路灯LED化 自転車や歩行者中心の道路・空間づくりの検討 	<p>子育て世代や高齢者を含めた、多様な年齢層の町民が徒歩や自転車で安全・快適に移動できるまちなみの形成</p>

【関連する主なSDGsの目標】



3. 中斜里地域

取り組み	2030年まで	2050年まで
再生可能エネルギー（熱・電気）の活用、省エネの推進	地域の事業者や金融機関等との積極的な連携、地域新電力の検討	地域特性を生かした発電や熱利用によりエネルギーの地消地消を実現
	熱電供給施設の検討	
	公共施設・工場間の熱・電力融通の検討	
	地域内でのエネルギー循環の推進	
交通分野の脱炭素化	大型配送車への合成燃料の活用検討	大型配送車への合成燃料の活用、環境性能の高い車の導入
	ICT技術を活用した効率運用	

【関連する主な SDGs の目標】



4. 農業

取り組み	2030年まで	2050年まで	
再生可能エネルギー（熱・電気）の活用、省エネの推進	休耕地や車庫・倉庫への太陽光発電システムや蓄電池の導入支援	地域特性を生かした発電や熱利用によりエネルギーの地消地消を実現	
	エネルギー資源としての農業残渣の活用検討		
	農業機械の自動化、農機大型化、シェアリング等による効率運用の推進		スマート農業が普及し、生産コスト軽減と作業効率化の定着
	農業機械の燃料改質の検討、推進		合成燃料の農業機械での活用の普及
自然を生かした脱炭素化	循環型農業の推進による畑地への炭素固定の吸収促進	循環型農業の普及、定着	

【関連する主な SDGs の目標】



5. 漁業

取り組み	2030年まで	2050年まで
再生可能エネルギー（熱・電気）の活用、省エネの推進	エネルギー資源としての漁業残渣の活用検討	地域特性を生かした発電や熱利用によりエネルギーの地消地消を実現
	漁船の燃料改質の検討、推進	合成燃料の漁船での活用の普及
	センシング技術を活用した漁船の率運用の推進	スマート漁業が普及し、生産コスト軽減と作業効率化の定着
	省エネ型冷蔵、冷凍機器の普及促進	省エネ型冷蔵、冷凍機器の普及
自然を生かした脱炭素化	山林や河畔林への植樹、河川環境保全の取り組みの推進	陸域、海域における環境保全の取り組みの定着

【関連する主な SDGs の目標】



6. 地域間連携

取り組み	2030年まで	2050年まで
再生可能エネルギー（熱・電気）の活用、省エネの推進	既存の系統線や自営線を活用した地域再エネの活用の検討 地域間連携による再生可能エネルギー導入拡大の検討	地域特性を生かした発電や熱利用によりエネルギーの地消地消を実現
交通分野の脱炭素化	電気自動車充電施設の効果的な設置に向けた検討	市町村をまたいだ電気自動車充電施設が効果的に設置され、電気自動車の利用が普及
ライフスタイルの転換	ICT等の最新技術を活用した遠隔サービスの検討	市町村をまたいだ効果的な遠隔サービスの充実

【関連する主な SDGs の目標】

